

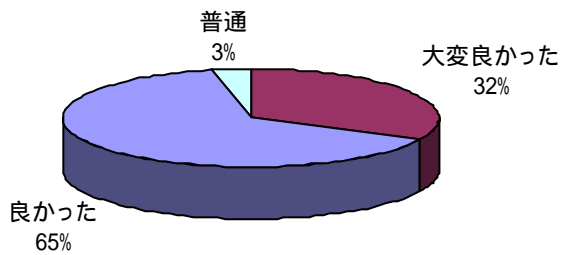
大垣市防災ひとづくり塾アンケート結果

(回答数 59 / 64)

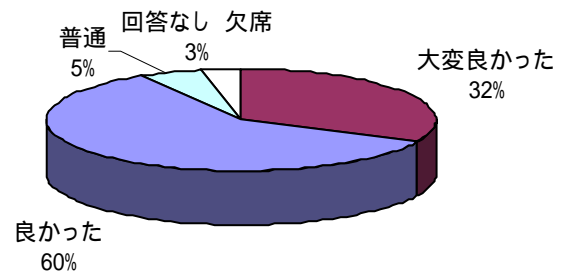
1. 講座内容について

【1日目】

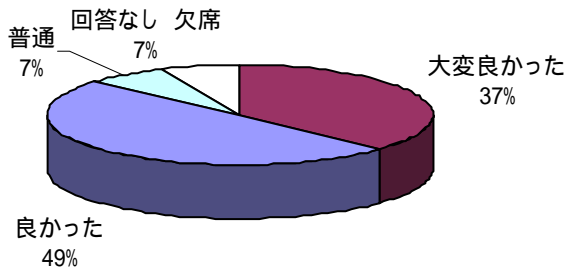
- ・ 講義 大垣で起こりうる地震災害についての概論
(名古屋大学大学院教授 山岡耕春氏)



- ・ 講義 災害時における市民の役割
(レスキューストックヤード 栗田暢之氏)

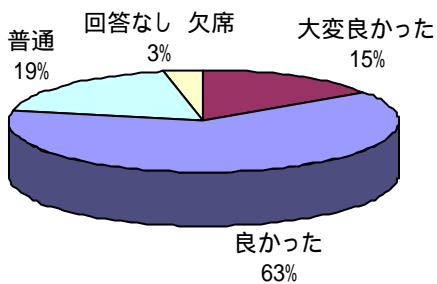


- ・ グループワーク 災害ボランティアセンター運営設置訓練
(レスキューストックヤード 栗田暢之氏)

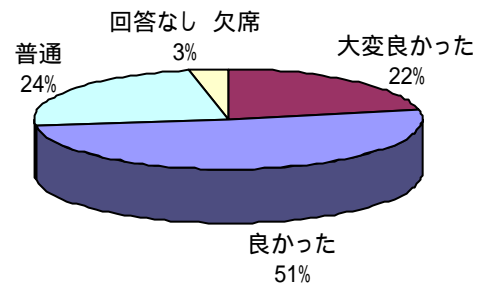


【2日目】

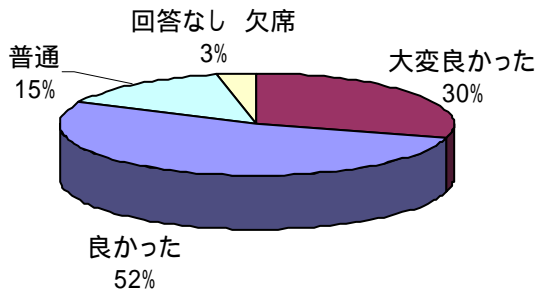
- ・ 講義 岐阜県の防災 ~土砂災害と対策~
(岐阜県大垣土木事務所)



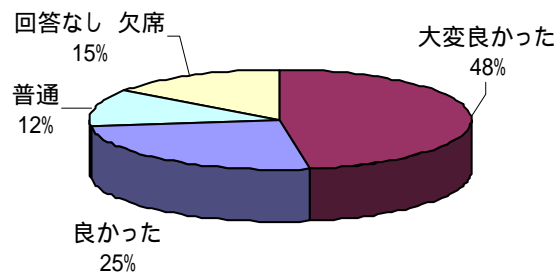
- ・ 講義 私たちが住んでいる土地と災害
(国土地理院 新西正昭氏)



- 講義 気象災害の仕組み**
 (岐阜地方気象台 向井利明氏)

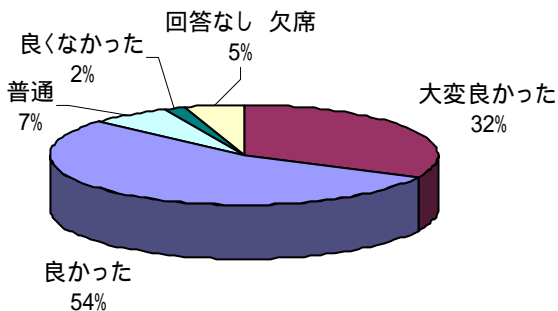


- 実技 普通救命講習**
 (大垣消防組合)

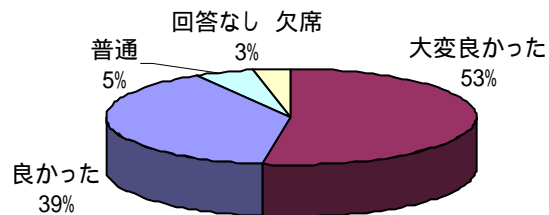


【3日目】

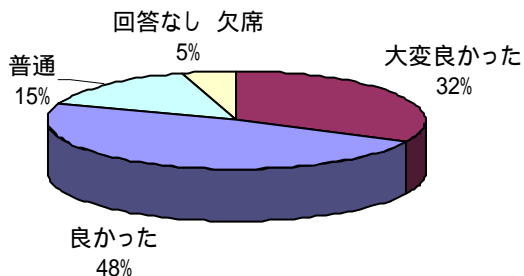
- パネルディスカッション 「市民による防災まちづくりの実践」**
 (なごや防災ポラネット)



- 講義 能登半島地震でのボランティア活動から**
 (石川県穴水町「あした塾主宰」滝井元之氏)



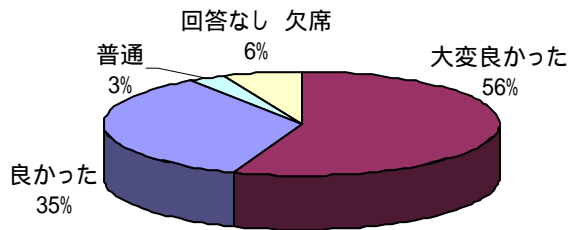
- グループワーク 地域の課題と私たちができることを考える**
 (レスキューストックヤード・なごや防災ポラネット)



【4日目】

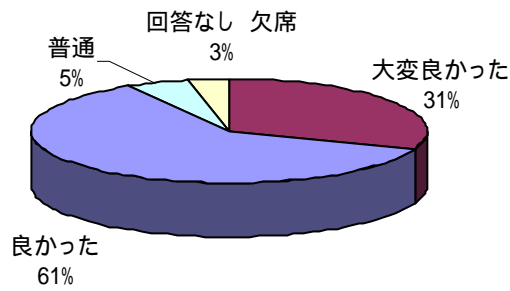
・ 講義 東海・東南海地震どうなる！どうする？

(日本気象協会・新井伸夫氏、東海ラジオアナウンサー・源石和輝氏)



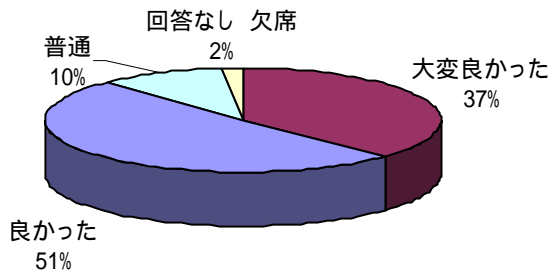
・ 講義 被災地の復旧・復興とボランティアの役割

(レスキューストックヤード事務局長 松田曜子氏)

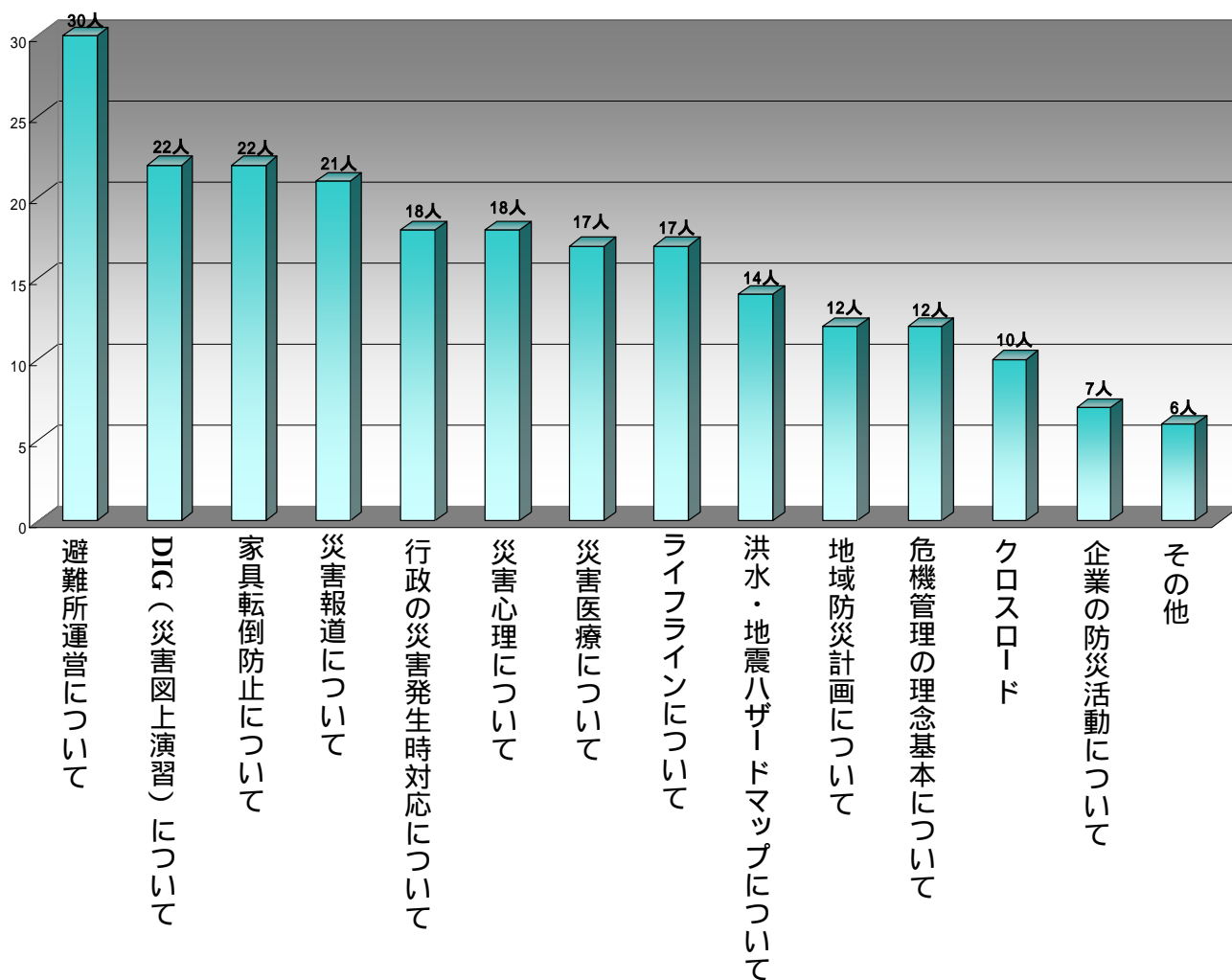


・ グループワーク 被災者の声に耳を傾ける

(レスキューストックヤード事務局長 松田曜子氏)



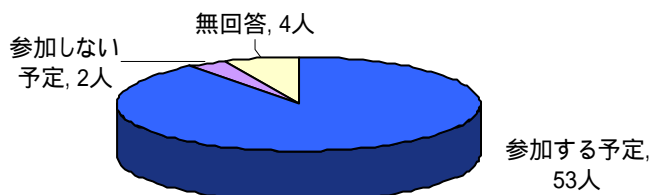
2. 来年度の講座に取り入れた方がよい講座（複数回答）



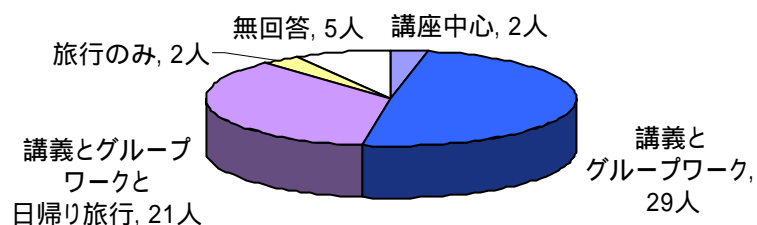
3. マスター講座について

来年度、第1期生を対象にマスター講座を計画しています。

(1) マスター講座に参加しますか



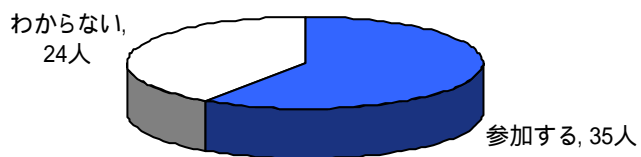
(2) どのような内容を希望しますか



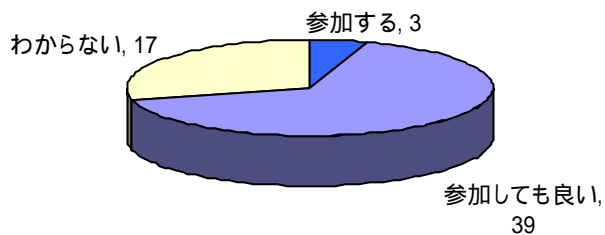
4. 防災リーダーとして

(1) 大垣市では、今後も防災訓練(夏・冬) 防災ひとづくり塾を行っていきます。

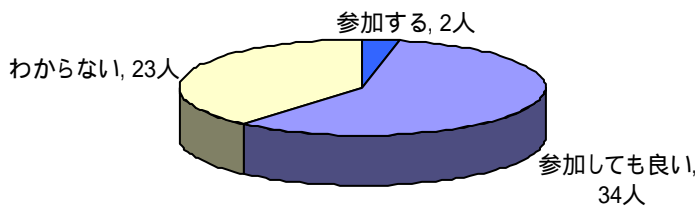
1. 防災訓練について



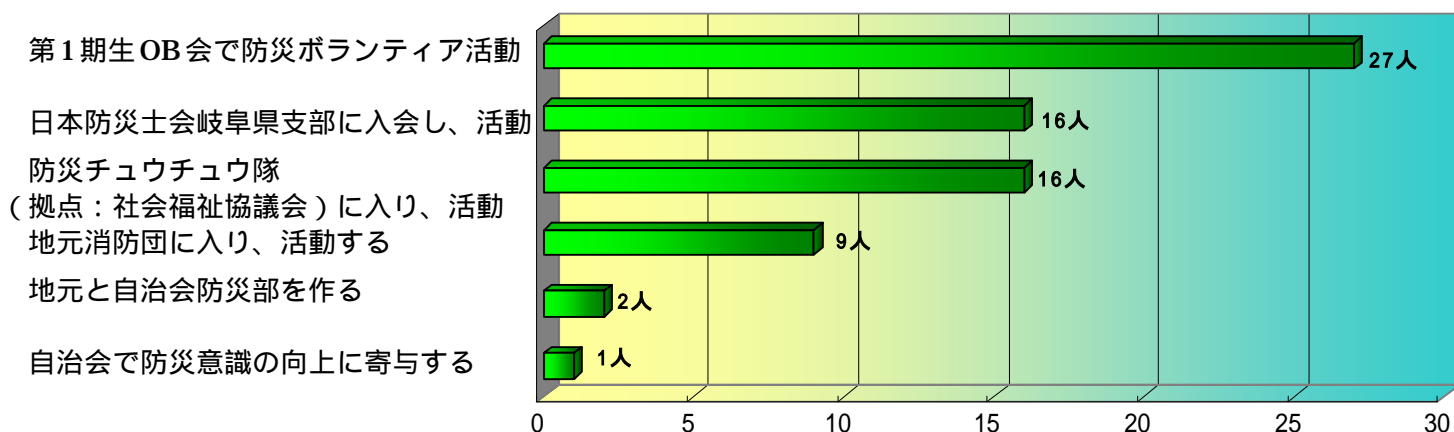
2. 防災ひとづくり塾の企画・運営・お手伝いについて



3. 防災ボランティア活動について



(2) 今後どのような防災ボランティア活動を希望するか(複数回答)



5 講座の感想

- ・ すばらしい研修ありがとうございました。聞くだけでなく、実技あり、グループワークありで、変化があって楽しかったです。源石先生、新井先生のトークで進める方法は、ワークショップを行ううえで大変参考になります。(A・Kさん)
- ・ 基礎知識編・実践編・実際運営場のTPO編等、レベルや意欲に合わせた内容が欲しい。動機づけ程度なら今回程度で可と思いますが、今後の活動云々を考えるとまったく不安。AM8:30から午後5:00まで時間があっても良いと思う(もっと多くの時間が欲しい。)(K・Mさん)
- ・ 身近な家具の転倒防止の実践をしたかった。(Y・Kさん)
- ・ はじめての講座で、大変勉強になりました。大垣市が求める防災リーダー1期生として、この4日間で終わることなく、何かしらの形でみなさんと関わり、意識をもって生活したいと思います。(U・Hさん)
- ・ 大垣市で起こりえるいろいろな災害について詳しく説明して欲しかった。また、それに対して具体的にどうすれば良いのかを知りたかった。防災についての知識を得ようと参加したが、何かボランティア活動の重要性ばかりで自分の思いと違っていた。(匿名)
- ・ どの講義も大変充実したもので、本当に来てよかったと思います。しかし僕と近い年齢の学生の姿が見られなかったことは少し残念でした。この講座は受けて損はひとつも無いはずなので、募集のときに学生が集まりやすい宣伝をしていただけたなと思います。(O・Tさん)
- ・ 荒崎地区の水害について、対応された方の経験談、一市民として非常に関心あり。非常食の予備があれば、塾生にも提供してはどうか。災害用トイレの使用体験がしたい。(O・Mさん)
- ・ とっても良い内容でした。(N・Yさん)
- ・ 普通救命講習ですが、終了証を持っているからパスではなく、参加した方が良いと思います。前回やっても、間があいていると忘れることや自己流になるかと思います。(Y・Hさん)
- ・ 全講座に出席できなかったのが残念でした。(K・Yさん)
- ・ 今まで知ることのなかった災害に対する知識や技術を学ぶことができ、大変有意義な時間となりました。(F・Kさん)
- ・ グループワークでいろんな方の意見が聞けてよかった。切り口の違う知識が増えたので勉強になった。(S・Kさん)
- ・ 改めて災害について知ったり、考えさせられることばかりで、大変勉強になりました。災害後、自分や家族が守れたあと、学習したことをもとに、地域の復興・復興に少しでも尽力できれば幸いです。(B・Tさん)

- ・ 源石さんと新井さんのお二人のかけ合いには、思わず引き込まれている自分を感じました。いろんな方の生の声や専門家のお話しなど、どの講義も大変興味深く受講させていただきました。種田様をはじめご担当の皆様、本当にありがとうございました。(I・Mさん)
- ・ パネルディスカッションについて・・・我々のために一生懸命に説明してくださる気持ちは十二分に理解できるが、時間が少ないせいで走っているからかも知れないが伝わってこない。内容と説明を、もう少しゆっくりと内容の濃いものにしていただくとよく理解できたと思う(我々は全くの素人ということを念頭に説明して欲しい。)(H・Kさん)
- ・ 栗田暢之先生、滝井元之先生の講座がすばらしかった。災害ボランティアの現場から目にした事柄がはっきり伝わってくるようで、「私にも何かできることがあるのでは?」と考えさせられました。お二人とも語り口調はそれぞれ特徴的でしたけれど、魅力ある講義でした。また、1月31日の最後の講座は慣れてきたせいか大変良かった。(O・Yさん)
- ・ 座席の組み換え、テーマを変えてのグループワーク等はメンバーが交代し、非常に新鮮で、積極的な意見が交わされ有意義であった。(O・Tさん)
- ・ スタッフの方々、ありがとうございます。志のある方が多くおられ、目に見えない所で、尽力されていることに感謝します。(T・Yさん)
- ・ 全体的に見て、ボランティア関係が多く、災害医療、危機管理の基本理念などの講座があると良いと思う。講座は今回は無料であったが、ある程度受講料を徴収しても良い。(W・Sさん)
- ・ いろいろな問題があることに気づいたことが良かった。まずは、仲間を作ることから一步を踏み出したい。(O・Kさん)
- ・ 滝井先生の実体験のお話、名古屋のボランティアの人々の活動は私たち経験していない者にとって、大変勉強になり、これからの活動に役立てたいと思いました。(K・Aさん)
- ・ 実際に災害に遭われた滝井先生のお話が聞けて、大変良かった。講義を聴いただけではよく理解できなかったことも、生の声を聞いて多少なりとも理解できたように思います。ありがとうございました。(I・Kさん)
- ・ 全国でもこうした講座を自治体主催で開催されているのですか(大垣市市は先駆者?)(I・Kさん)
- ・ 大垣市という地域では地震はもちろんだが、水害に対しての講座ももっと入れても良いと思う。(M・Kさん)
- ・ なごやボラネットの方々の話を聞いて、今一度、今回の講習を振り返り、自分を磨きたいと感じました。

(K・Nさん)

- ・ 各講座とも歯切れの良い講座で分かりやすかった。災害が発生した後の活動がメインであったが、災害予防も予算等の関係があるものの、長期ビジョンで対処することが必要だと思う。(Y・Tさん)
- ・ 参加者数が多すぎて、グループの人数が多すぎる。簡単な電気知識、力学(てこ・油圧)知識、のこぎりの使い方、保冷保温の知識などいわゆるサバイバル知識の講座がいるのではと思います。座学的なことも良いと思いますが、身体を動かす体験も防災士として必要ではないかと思います。初期消火訓練が必要だと思います。安全靴の試着など。(K・Hさん)
- ・ 防災についての一連の流れ、自助・互助・協力の原則に基づき、少しずつ分かってきましたが、実際に行動するとなると、いくつかの訓練や反復講習会等が必要と考えています。機械があればまた参加していきたい。最低、年に1回は企画してください。(H・Tさん)
- ・ 全講座ともよい勉強になった。特に大垣市に関する講座は身近な点でもあり興味深かった。講座を受けて、災害に対する知識と心構えができたと思う。ただし繰り返し、訓練や勉強を継続して行うことは必要。知識と体験を行動に移すことが大切であろう。(K・Hさん)
- ・ 大垣市近隣のいろいろな人たちと一緒に勉強でき、知り合いにもなれて良かった。もう少し1日の講義時間を長くしても良いと思います(4.5時間 6~7時間)。(S・Nさん)
- ・ できれば被災者の方のお話をきくことができれば、被災者の状況を少しでも感じることができると思う(Y・Sさん)
- ・ 栗田暢之先生の体験談をもっと聞きたかった。各講座一つ一つは大変ためになるのだが、全体で薄まってしまいそうで残念です。心に残る言葉は大切にしたいので、もう少し講座数を減らして時間を長くしてほしい。(I・Hさん)
- ・ 防災について、多角的な観点から色々お話を聞いたことが大変収穫であった。グループワークの課題選定が良かった。(グループワークで意見が対立したため)怒ってお帰りになったおじいさんがみえたのは残念だった。(M・Tさん)